

臨床研究 「逆回転回路を有する特発性左室脚枝心室頻拍」について

筑波大学附属病院 循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

器質的心疾患を伴わない患者さんにも、特発性心室頻拍と呼ばれる重症不整脈が発症することがあり、この不整脈をコントロールすることは非常に重要なことです。一方、特発性心室頻拍はカテーテルアブレーションにより根治することも可能です。左心室を起源とする特発性心室頻拍に対するカテーテルアブレーションの方法や治療成績については既に多くの報告があります。特に東アジア地域に多い特発性左室脚枝心室頻拍に関しては、頻拍中の心電図やアブレーションの成功部位により5タイプに分類され、アブレーション方法もほぼ確立されています。一方、近年最も多いタイプの頻拍回路を逆方向に回転するタイプが報告されました。この「逆回転回路を有する特発性左室脚枝心室頻拍」は今までの頻拍と波形が大きく異なるにもかかわらず、通常のタイプと同じような手法でカテーテルアブレーション治療できますので、その診断はとて重要です。この研究を進めることにより、新たなタイプの特発性左室脚枝心室頻拍が治療できるようになることが期待されます。

② 研究対象者

2016年1月1日から2019年12月31日までの間に、器質的心疾患を伴わない特発性左室心室頻拍に対してカテーテルアブレーション治療を施行した患者さんの中で、新たなタイプの逆回転回路を有する特発性左室脚枝心室頻拍を有した患者さんが研究対象となります。

③ 研究期間

研究期間は当院の倫理委員会承認後から2020年12月31日までです。

④ 研究の方法

研究対象となる患者さんの過去の診療記録を用いて、不整脈の特徴やアブレーション治療の成績を調査します。

⑤ 試料・情報の項目

過去の診療記録から下記の項目を調査します。

- ・ 診断病名
- ・ 年齢、性別、受診日、自覚症状、既往歴、手術歴（心臓カテーテル治療を含む）、現疾患（糖尿病、高血圧、高脂血症、慢性腎不全、心不全の有無）、治療内容（アブレーションに関するデータを含む）など
- ・ 12 誘導心電図（洞調律中および心室頻拍中）
- ・ 心エコー（左室駆出率,左室径,弁膜症の有無など）
- ・ 来院時と治療後の内服薬、治療後経過と転帰

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

研究責任者：筑波大学附属病院 医学医療系 循環器内科 教授 家田真樹

⑦ 共同研究機関からの試料・情報の提供、保有する個人情報保護の方法

この研究は筑波大学附属病院を主導研究機関とし、下に記す施設を共同研究機関とする多施設共同研究です。共同研究機関から当院データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で電子的配信により行います。

主導研究機関名・研究責任者：

筑波大学附属病院・医学医療系 臨床医学域 循環器内科 家田真樹

共同研究機関・研究責任者

田附興風会医学研究所北野病院・不整脈科 春名徹也

静岡済生会総合病院・不整脈科 長谷部秀幸

市立四日市病院・循環器内科 水谷吉晶

大垣市民病院・循環器内科 森島逸郎

⑧ 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために学会や論文で公表されることがありますが、その場合も個人情報の秘密は厳重に守られ、第三者には個人の特定ができないように配慮されます。

⑨ 研究終了後の個人情報の取り扱いについて

研究終了後 10 年間はデータを保存し、その間も個人情報の秘密は厳重に守ら

れ、第三者には個人の特定ができないように配慮されます。その後すべてのデータを廃棄します。

⑩ 保有する個人情報の開示手続、お問い合わせ先

あなたのデータが本研究に用いられているかどうかを知りたい場合は、いつでも下記問い合わせ窓口までご連絡ください。また、患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、あなたのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合など、結果を廃棄できない場合もあります。

筑波大学 医学医療系 循環器内科 教授 野上昭彦

住所：〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1

電話：029-853-3143

FAX：029-853-3227

問い合わせの対応可能時間：平日 9時から 17時まで